

「美味しさ」
という武器で
まちづくり

特集

引き出せ 地元食材 の魅力

地元には、その土地を代表する美味しい食材が数多く存在しています。垂水市では今、そんな美味しい食材を、より多くの消費者に届けるための販路拡大事業を展開しています。ポイントは、その魅力をどうやって表現するか。今月の広報たるみずでは、食材の魅力を改めて見つめ直し、垂水市の取組をご紹介します。

食は生命の源

「食」は、私たちが生きていく上で大切なものです。とりわけ食事は、身体的な栄養補給のみならず、家族や知人と一緒に囲むことで絆を深めるコミュニケーション手段となります。何より「美味しい料理」と聞くだけで、元気が出る人もいるはずです。「食」は、その存在だけで人を魅了する力を持っています。

地域の魅力で人と仕事の流れを生み出す

今、日本では、地域の魅力を本気で生かしたまちづくりが進められています。いわゆる「地方創生」です。これは、人口減少や超高齢化という大きな課題に対して、各地域が自分たちの魅力を生かし、持続的な社会を創生しようとするものです。地方創生の取組は、

多岐にわたっています。それは地域の魅力が、地理的条件から、そこに住む人々に至るまで、数多く存在するからです。ポイントは、それに気付き、育て、人や仕事の流れを生み出せるかどうかなのです。

料理は食材の魅力を最大限に引き出す最強の武器

地元にある様々な農畜産物や水産物は、生産者が誇る「特産品」として、国内外で流通しています。垂水市では、この流通を更に加速させることが、元気なまちづくりにつながるかと考えています。そして、そのきっかけづくりとして、「料理」に着目しています。つまり、「実際に味わってもらったことが一番!」ということですね。今月は地元食材の魅力を料理を通じて再確認し、流通を加速させるための取組をご紹介します。